

第2次米子市一般廃棄物処理基本計画（素案）について米子市淀江地域審議会からの意見

第2次米子市一般廃棄物処理基本計画（素案）について、平成24年5月18日開催の米子市淀江地域審議会において、次のとおり意見が出されましたので報告します。

記

第2章 ごみ処理基本計画

●第4節 ごみ減量化の目標値 第5節 排出抑制・資源化計画

ページ	委員意見内容	市説明
P64～	この審議会での意見について、どのように取り扱われるか。	淀江地域審議会の意見、市議会市民福祉委員会の意見を減量審議会に報告し、淀江地域審議会、減量審議会の意見をもとに、基本計画の最終案を作ります。 また目標値について見直す方向で考えています。

ページ	委員意見内容	市説明
P79 ～80	目標値よりも減量に取り組む施策が大事ではないか。 特に生ごみ、剪定枝などのリサイクルに関する施策が必要だと思う。 米子市の1人1日当たりの排出量が多いのは事業ごみが多いのが原因だと思う。事業系ごみの対策はどのように考えているか。	P67のように可燃ごみを1割減というように具体的な数値の目標を掲げ、根拠としての施策を作っていきたいと考えています。 P80に事業ごみの対策を載せているが、その他に米子市クリーンセンターで直接搬入する事業所や事業所ごみを収集する許可業者の持ち込みの分別指導や産業廃棄物が入っていないか等のチェックを考えています。

ページ	委員意見内容	市説明
P82	不燃ごみをさらに分別して、新しい分別区分を作ったらどうか。	例えば金属類の回収ルートの開拓など検討してみたい。

●第7節 中間処理計画

3 中間処理施設の管理運営

(3) エコスラグセンター

ページ	委員意見内容	市説明
P90	エコスラグセンターについて、搬入される灰が減ってきて運転が可能か。西部広域の問題ではあるが、米子市が主体的に取り組んでいくべき。今後どうするのか早急に対応が必要だ。	米子市クリーンセンターで①平成28年に境港市のごみも受け入れ、②平成34年に西部広域の他市町村のごみも受け入れを検討しています。そうすると、エコスラグセンターで扱う灰の量も米子市の影響を受け減少します。 クリーンセンターへの他市のごみの受け入れについて、市が地元と協議中であり、クリーンセンターの計画がまだ決まっていないためエコスラグセンターの協議も進んでいません。

●第8節 最終処分計画

3 最終処分場の管理運営

4 最終処分場に関する計画

ページ	委員意見内容	
P93	最終処分場について、西部広域の管理であるが、米子市が他人事とならないようにしてほしい。	

●第2節 第1次基本計画で取り組むこととした施策・事業の実施状況

ページ	委員意見内容	市説明
P32	市がどのように取り組んできてどのような課題があるのか、現状をどう考えているかが見えにくい。 市民に理解してもらうなら課題を分かりやすく説明すべき。 課題を明らかにして施策を出してほしい。	取り組みを明確に書くようにしたい。 P73を見てわかるように事業系ごみが多いことが現状の課題だと考えています。